

全国統一要求（抜粋）	ダンプ 建交労全国ダンプ部会	発行所 全日本建設交運一般労働組合 東京都新宿区百人町 4-7-2 電話 03(3360)8021 毎月25日発行 1部 50円
------------	--------------------------	---

労働組合運動に確信を持ち、単価改善闘争に取り組もう



秋田分会での使用促進闘争学習会の様子（2024年6月秋田市内）



東海ダンプ支部大会に20人が集まり、楽しく交流しました。（1月11日愛知・西尾市内）

書記長 執行委員長 副執行委員長 役員体制
高橋立利正 野川彦一
荒木正彦
橋立利正
顕彦一



要求闘争

広域化で地域を乗り越え 使用促進闘争を推進する

東北ダンプ

新年あけましておめでとうございます。
4年目に突入した燃料・物価高騰による負担増
は、着実にダンプの仕事と生活に大きな影響を与
えています。一方でダンプを取り巻く情勢は、12
年連続の設計労務単価の引き上げ措置や建設業法
の改正など、厳しさだけでなく労働組合として闘

東北ダンプ支部は、202
2年秋に「青森、岩手、秋田、
福島」の各支部が一つになり、
広域支部を結成しました。
広域支部の結成前には、福
島を中心とした使用促進闘争を展
開し、仙台市地下鉄工事での
共同闘争を皮切りにして、東
日本大震災復旧復興工事（岩
手・宮城・福島）では名実と

もにブロックでの統一闘争を
推進しました。
スーパー・ゼネコンを筆頭に
した元請による建交労への排
除攻撃も強まりましたが、発
注者交渉やキャラバン行動、
株主総会行動、各地での宣伝
カー運行などを粘り強く展開
しました。さらにダンプ規制
法の制定の歴史と使用促進措

置の意義・目的を明らかにす
ることで、法令遵守の立場で
理論的に打開できない元請各
社の抵抗が緩やかになり、地
域業者にも浸透しつあります。
震災対策後も燃料高騰を背
景に就労中の現場で単価引
き上げを元請各社に求め、最
高で常用単価5万5千円（税
別）を実現させてい

東海ダンプ
東海ダンプ支部は、1月11
日（土）愛知県西尾市にて第
9回定期大会を開催しました。
大会では、荒木副執行委員
長の開会あいさつで始まり、
野川執行委員長から「単価引
き上げに活用できる改正建設
業法の標準労務費をダンプ版
積書の見本を支部として作成
していく、単価改善の運動を
一層進めていきたい」との
あいさつがなされました。
議案提案では、「200人の
支部組織を目標として、ダン
プや建設・軽貨物の拡大」「職
場闘争や使用促進闘争で単価
労働条件を改善」などの方針
が提案され、質疑応答や意見
表明を全員が行つたうえで、
満場一致で議案は可決成立了。
大会後は、新春交流会で仲間の親睦を深めました。

同支部は、福島を中心に切
り開いた使用促進闘争における
発注者・元請との到達点を
活かし、各分会に結集する組
合員が単価改善の成果を実感
できるよう「岩手、秋田」に
おいても取り組みを広げてい
ます。

すでに秋田では大手地場業
界・スーパーの受注現場でも
交渉を続け、軒並み合意を得
られる方向になっています。
また各分会では、組合員の
結集を強化する為に班会議の
定例開催にも力を入れ、拡大
や大臣署名アンケート活動
にも参加を呼びかけています。

各種の要求闘争を展開し 強く大きな支部を目指す

東北ダンプ



恒例の新春学習会に参加した関西ダンプ支部の仲間達（1月12日大阪市内）

学習を力に運動を広げ 要求闘争で奮闘しよう

関西ダンプ

**新春学習会に14名が参加
継続を力に春闘へ決起を**

関西ダンプ支部は、1月12日（日）に関西労働協の中田進先生を講師に招き「25春闘をめぐる情勢と課題」と題して国労大阪会館にて恒例の新春学習会を14名の参加で開催しました。

中田先生は「大企業・大金持ちいいなりのワイロ政治に労働者・国民がもつと怒らなければならぬ。激動する時代の始まりを正しくつかまなければならぬ」と元気な声で講演が始まりました。

「『政治と力ネ』・裏金問題をしんぶん赤旗がスクープし

大きな社会問題となり、自民党・公明党を昨年10月の解散総選挙で過半数割れに追い込んだ。国民民主党(103万円の壁)・れいわは(消費税ゼロ)の発言等がSNSで拡散され若者が期待し大きく前進したと協調しました。

また、「労働組合は、経済闘争だけでなく、政治闘争・田舎想闘争が重要。関西ダンプは毎年私を呼んで学習会を行っている。継続した力が大切だと力説し、「学習なしには、確信も展望も生まれず諦めが生まる。諦めさせることが資

本家の狙いである。眞実を抜く力を付けるためにも学んだことを周りに語り拡げて欲しい」とA3×11ページの資料を使つての学習会でした。

「戦後80年の歴史」についても触れ、「先の総選挙で戦争放棄の憲法9条を改憲しようとする自民・公明・国民党・維新・保守・参政党の議席が287議席と改正に必要な310議席を下回った。今年の7月に行われる参議院選挙が極めて重要である」と資料をしながら丁寧に報告しました。

最後に「軍拡より、震災被

建設アクション要請行動 減税・インボイス廃止を

建設共闘

改善策こそ優先すべき課題、すべての物価を引き下げる消費税の減税と賃金・単価の大幅引き上げで日本経済を活性化させること、建交労関西ダム新規支部は25春闘で大幅賃上げ（単価引上げ）で団結し、市民と野党の共闘で政治の革新、政党支持の自由を保障、学び行動、仲間を増やす運動と併せて春闘勝利する事を期待する」と講演を終え、今年も大いに奮闘することを確認し閉会しました。

建設アクション要請行動

減税・インボイス廃止を

建設共闘
建交労が参加している建設アクション実行委員会は、11月28日に「消費税5%減税、インボイス制度廃止を求める

A man in a dark suit and tie stands in front of a large projection screen, pointing towards it with his right hand. The screen displays a technical diagram of a bridge's internal structure, specifically a box girder, with four main sections labeled A, B, C, and D. The diagram includes various symbols and text such as 'ZIG-ZAG' and 'SUSPENDED'. To the left of the speaker, there is a whiteboard with Japanese text: '建交労・協 建交労・協'. To the right, another whiteboard has the text '研修会' (Seminar). The audience consists of approximately 20 people seated in rows of chairs, facing the speaker. The room has a modern interior with a clock on the wall and a window on the right side.

40名の仲間たちが集まり、交通安全について学習しました。（10月17日埼玉県加須市内）



埼玉県警講師に迎えて 交通安全学習会を開催

恒例の新春学習会に参加した関西ダンプ支部の仲間達（1月12日大阪市内）

消費税5%減税：インボイス制度廃止を求めました（11月28日東京・国会内）

全体で約100人の仲間が参加し、建設事業者の実態や燃料高騰による経費増やインボイスによって実務や納税の負担や苦しむ建設関連労働者の実情を伝えました。

財務省は、「消費税減税は社会保障制度について国民負担が増えるから難しい」「インボイス制度は、複数税率制がある為に必要である」と從来からの回答をくり返すだけで事業者の実態を全く省みない態度でした。

政党から日本共産党の衆議院・参議院の国会議員が激励に訪れ、連帯のあいさつを行いました。

埼玉県警講
交通安全

埼玉ダンプ北部支部は、10月17日（日）に市民プラザ加須において、交通安全学習会を40名参加で開催しました。交通安全学習会は毎年、支部の役員が資料を作り開催していますが、今回の学習会は埼玉県警本部に講師をお願いしました。警察にお願いした学習会は、毎年変わっている道交法などを学習し、どのような事故が多いかなども学びました。警察の学習会は、講師が分かりやすく説明し、飽きないように工夫したり、質問形式でやつたりしてくれ

ので参加者も楽しく学ぶことができました。また、組合員が高齢化しているので、今よりも認知機能が低下しない学習方法を教えてもらい、みんなで実践しました。結構簡単なうございましたが、ちよつとやる間違つてしまふので、毎日やることが大事だと実感しました。

毎回ですが、警察を招いての学習会は自分たちで開催する内容とはかなり違っていますので、とても為になります。また。また数年後に、お願ひして開催したいと思います。